

在来線廃止の場合

※「在来線存続の場合」と異なるふき出しを着色しています。

駅利用に必要な駐車場

車を停めて新幹線で移動するためのパークアンドライド駐車場や修学旅行などの団体用のバス駐車場を確保するため、**くとさんパークの一部を駐車場に変更**します。

◆課題

- ・用途地域の変更、都市計画公園の変更

スムーズな駅アクセスのための道路設置

新駅の北側・現在のくとさんパーク内に大型車が安全に走行できる道路を設置し、国道5号・北3条西通・南3条通と合わせて**大型車走行のネットワーク**を構築します。

◆課題

- ・用途地域・都市計画公園・都市計画道路の変更

安全に利用できるバス乗降場

新幹線駅から出て道路を渡ることなく**安全にバスに乗れる**バス乗降場にします。

◆課題

- ・用途地域の変更、都市計画公園の変更

交通結節として必要な機能が満たされている駅舎

案内、荷物の預かり、待合いの休憩などに対応できる駅舎にします。「賑わいは駅前通りで創出」するため、駅周辺では限定的なサービスとします。

駅から自然を感じることができる公園

現在のくとさんパークを活用し、旭ヶ丘公園と一体となった景観を活かしながら、**自然を感じることができる公園**づくりをすすめます。

人が集まる公共施設

町営体育館は新幹線開業時に更新時期ではないため、しばらく**そのまま使う**こととします。ただし、多くの人を訪れる駅にふさわしい文化福祉、コンベンションなどの**公的施設の将来的な設置**を見越した町による土地利用計画の検討を行います。

◆課題

- ・駅舎からのアクセス（駅前通りを通る徒歩・自転車の町民が体育館にアクセスできるように）
- ・駅駐車場、体育館駐車場の管理（有料・無料）

南3条通の整備

在来線の存続により跨線橋かアンダーパスができるようですが、どちらであっても南北方向の車両の通行に支障があります。**在来線の存続が決まるまでは、旭ヶ丘公園内の道路を迂回路とするなど、今後のまちづくりへの影響を最小限にできるよう検討をします。**

まちの賑わいの一端を担う施設

既存施設を活用した賑わいづくりをすすめます。

◆課題

- ・駅周辺で交流施設として必要な機能
- ・駅や駅周辺、石造り倉庫、北一街区も含めて施設の機能分担と官民の役割分担や連携

まちにつながる空間

駅を出て駅前通りへつながる空間として整備するため、**歩行者を優先した空間**にします。

◆課題

- ・駅前通りへの歩行者の安全な道路の横断方法

スムーズに送迎できる停車所

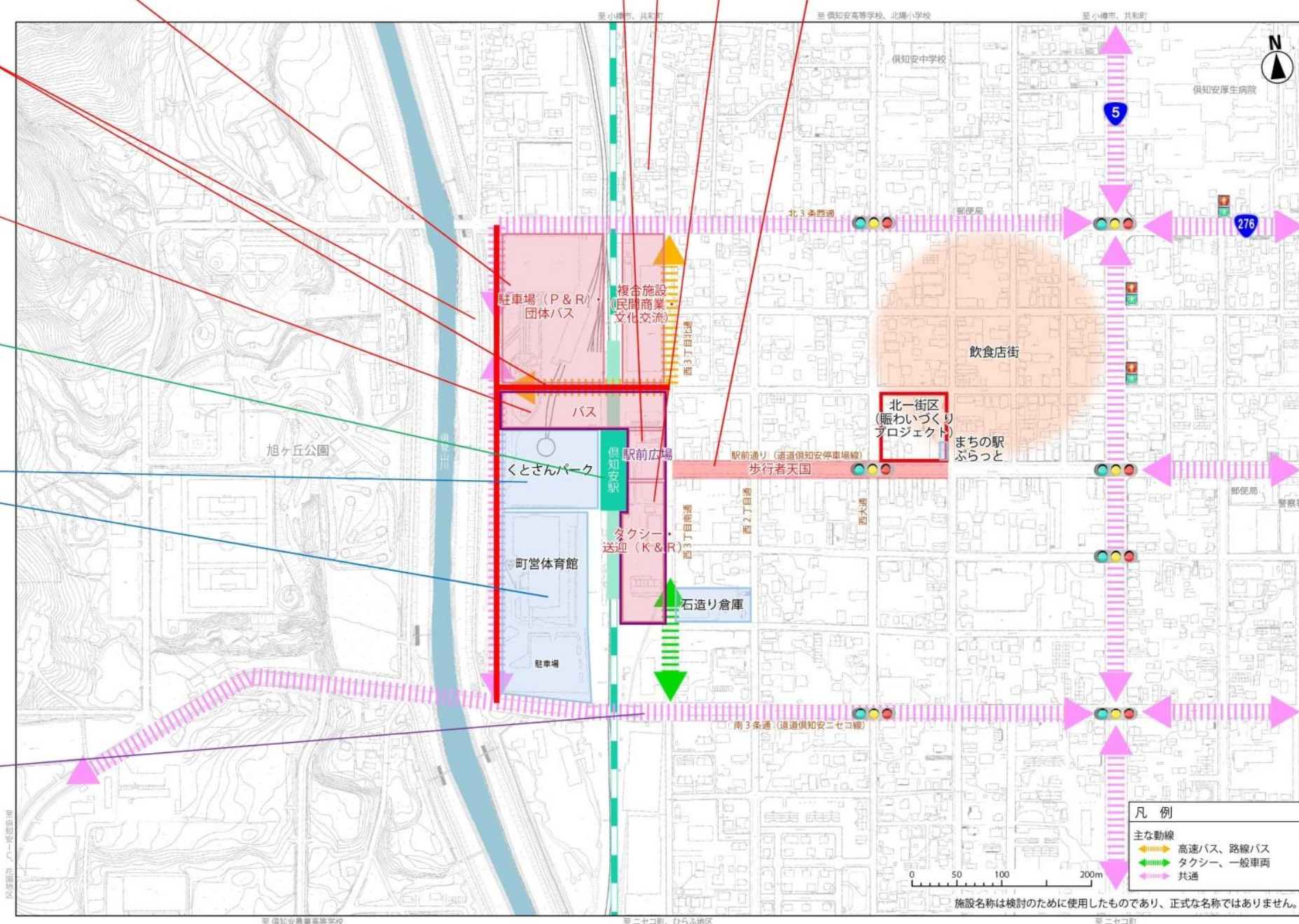
タクシー、地元住民の送迎、宿泊施設の送迎など、滞在時間が短い車両の停車所を設置します。

歩く楽しみを感じられる駅前通り

駅前通りは、歩いて楽しみを感じられるまちなみと仕組みをつくります。賑わいを創出しようとしている北一街区まで**歩行者天国**とし、さらに、駅前通り周辺はバスなどの大型車両の乗入れは行いません。

◆課題

- ・歩行者天国の運用（全日、時間限定など）
- ・来街者の駐車場の確保（路上駐車が多い）
- ・歩行者天国の場合の荷捌き
- ・「道道」としての位置づけ（変更など）



在来線存続の場合

※「在来線廃止の場合」と異なるふき出しを着色しています。

駅利用に必要な駐車場

車を停めて新幹線で移動するためのパークアンドライド駐車場や修学旅行などの団体用のバス駐車場を確保するため、**くとさんパークの一部を駐車場に変更**します。花園方面からのタクシーや送迎車両を対象とした駐車場の設置を行います。

◆課題

- ・用途地域の変更、都市計画公園の変更

スムーズに送迎できる停車所

タクシー、地元住民の送迎、宿泊施設の送迎など、滞在時間が短い車両の停車所の設置します。

交通結節として必要な機能が満たされている駅舎

案内、荷物の預かり、待合いの休憩などに対応できる駅舎を考えます。「賑わいは駅前通りで創出」するため、駅周辺は限定的なサービスとします。

駅から自然を感じることができる公園

現在のくとさんパークを活用し、旭ヶ丘公園と一体となった景観を活かしながら、**自然を感じることができる公園**づくりをすすめます。

人が集まる公共施設

町営体育館は新幹線開業時に更新時期ではないため、しばらく**そのまま使う**ことを考えます。ただし、多くの人を訪れる駅にふさわしい文化福祉、コンベンションなどの**公的施設の将来的な設置**を見越した町による土地利用計画の検討を行います。

◆課題

- ・駅舎からのアクセス（駅前通りを通る徒歩・自転車の町民が体育館にアクセスできるように）
- ・駅駐車場、体育館駐車場の管理（有料・無料）

南3条通の整備

在来線の存続により跨線橋かアンダーパスができるようですが、どちらであっても南北方向の車両の通行に支障があります。**副道による駅へのアクセス**など、今後のまちづくりへの影響を最小限にできるよう検討します。

まちの賑わいの一端を担う施設

既存施設を活用した賑わいづくりをすすめます。

◆課題

- ・駅周辺で交流施設として必要な機能
- ・駅や駅周辺、石造り倉庫、北一街区も含めて施設の機能分担と官民の役割分担や連携

まちにつながる空間

駅を出て駅前通りへつながる空間として整備するため、**歩行者を優先した空間**にします。

◆課題

- ・駅前通りへの歩行者の安全な道路の横断方法

安全に利用できるバス乗降場

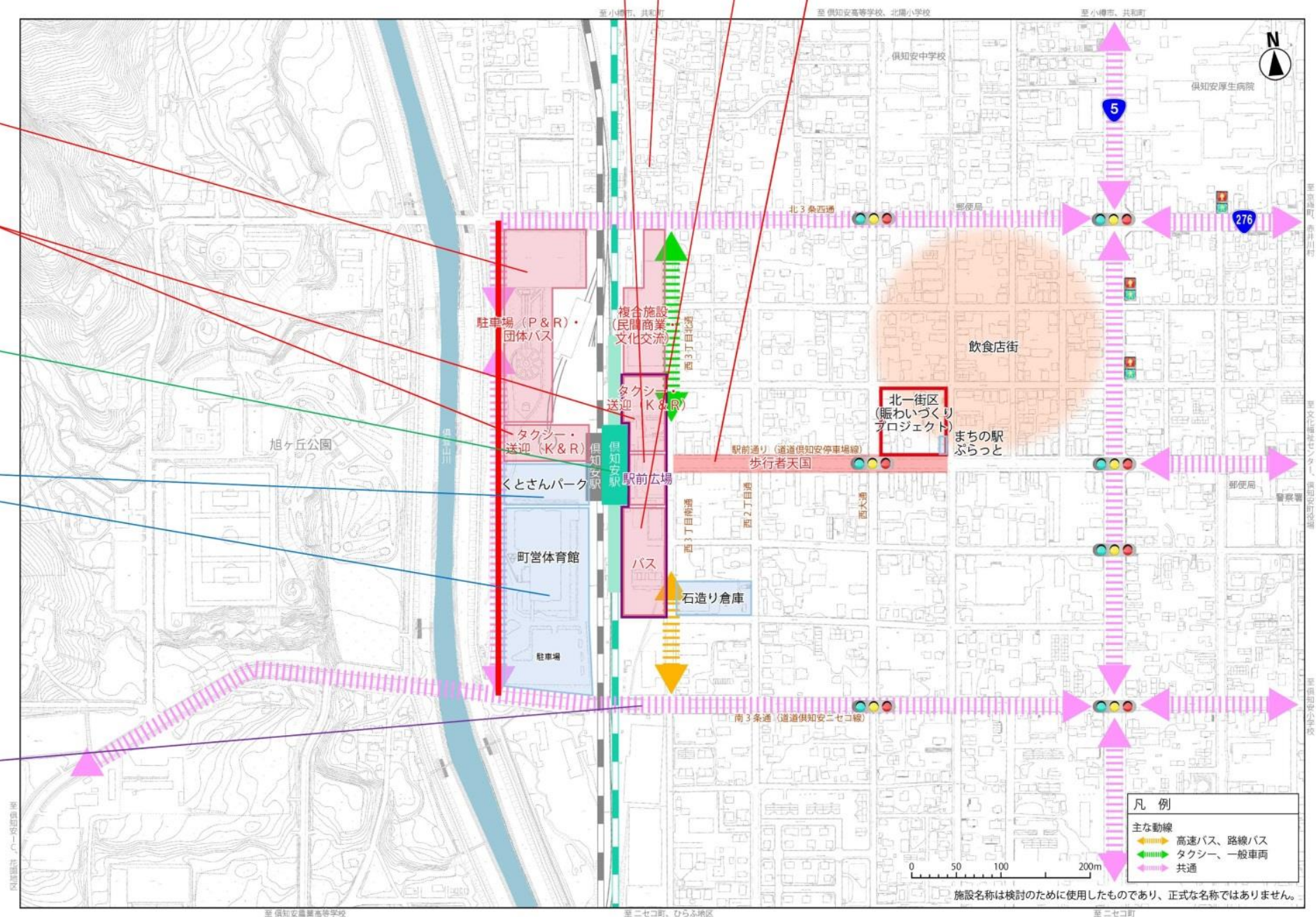
新幹線駅から出て道路を渡ることなく**安全にバスに乗れる**バス乗降場を設置します。

歩く楽しみを感じられる駅前通り

駅前通りは、歩いて楽しみを感じられるまちなみと仕組みをつくりまします。賑わいを創出しようとしている北一街区まで**歩行者天国**とし、さらに、駅前通り周辺にはバスなどの大型車両の乗入れは行いません。

◆課題

- ・歩行者天国の運用（全日、時間限定など）
- ・来街者の駐車場の確保（路上駐車がが多い）
- ・歩行者天国の場合の荷捌き
- ・「道道」としての位置づけ（変更など）



駅前通りのあり方（コンセプト）

歩く楽しみを感じて集まり
にぎわい広がる駅前通り

駅前通りを取り巻く状況

駅前通りの状況

- ・若い人たちが工夫している
- ・歩いてみると色んな店がある
- ・まっすぐな道とその景観

- ・ちょっと寂れている
- ・仕事帰りに暗い
- ・まちなみに統一感がない
- ・路上駐車が目立つ

倶知安町の状況

- ・長期滞在型・個人型の観光者の増加
- ・外国人観光客の増加

- ・外国資本による不動産開発の活発化
- ・高規格道路のIC供用予定（H37年度）
- ・冬季オリンピックの誘致（H38年度）
- ・新幹線駅開業予定（H42年度）

社会情勢

- ・人口減少、少子化・高齢化の急速な進展
- ・公共投資の縮小、財政の緊縮
- ・地方分権・協働の進展
- ・地域社会の希薄化
- ・世界化の加速、高度情報化

「あり方」実現のための方針

方針 1 立ち寄りたくなる商店街づくり

美味しいものや魅力的なサービスがあれば、おのずと人は来店します。さらに、お店を知ってもらう、みてもらうための情報発信や訪れやすい外観づくりも大切にしながら、もてなしの心で、歩く人の目線を意識した入りたくなる店をつくりまします。

活動や実施のイメージ

個々の店舗の努力で駅前通りに訪れる人が増えることを期待します。現在でも、入り口にメニュー表を掲げる、入りやすい雰囲気の外観や内装にするなど、努力をしている店舗が増えてきました。駅前通りの関係者自身がこのような努力を続けます。



丁寧に手入れされた外観やメニュー表の掲示は、入りやすい雰囲気を創出し、お客様を店内に誘導します。

方針 2 私たちが集まりたくなる居場所づくり

オープンスペースや今ある施設の活用により、子育て世代や小・中・高校生が集まりやすく、ゆったりと時間を過ごせる居場所をつくりまします。世代も地域も超えた交流の場をつくりまします。

活動や実施のイメージ

空地や空家、使われていない施設を活用することで、その場所を中心ににぎわいが広がることを期待します。例えば倶知安らしさである堆雪場所を遊び場にするなど、まちなかの遊び・集まれる場所を実証実験で試しながら必要なものをつくりまします。



イベントとの連携や、季節・時間を考慮した人が集まる場所づくりによって、駅前通りににぎわいをつくりまします。

方針 3 歩行者を最優先に考え、歩く楽しみを感じられる空間と仕組みづくり

私たちや他のまちから訪れた人も、歩いて楽しみを感じられるまちなみと仕組みをつくりまします。駅舎から外に出た人の印象に残るように、時と共に変化する魅力的な空間をつくり、にぎわいを広げていきます。

活動や実施のイメージ

「他に楽しいことがないかな」「他に美味しいものはないかな」と集まった場所から次の場所を探したくなるまちをつくりまします。道路も「にぎわいの場所」と考え、歩行者の通行を第一に考えた道路空間へ転換し、また、歩行の妨げにならない駐車場の適正な配置を検討します。高さなどの統一感のあるまちなみを眺めながら、子どももお年寄りも、暮らし人も訪れる人も安心して歩き楽しめる時間と空間をつくりまします。



一車線イメージ



全面歩行者空間イメージ

方針 4 時代の変化に対応しながらまちを創りつづける人づくり

「倶知安は暮らしやすいよね」と思えるまち、「倶知安に暮らしたくなる・訪れたくなる」まちをつくるため、まちは時代に合わせて変化していく必要があります。まちづくりに多くの人に関わってもらい、また、将来に向けて人材を育てていきます。

活動や実施のイメージ

多くの人の手によってまちをつくっていきます。暮らし人ももちろん、訪れる人も楽しいまちをつくり続けられるよう、まちの将来を担う人材も育て、お店、活動、イベント、勉強会などの様々な関わりをつくっていきます。



まちを思い、まちのことを語り・学び、動きます。

今後の活動や検討の視点

比較的短期（現在～5年後）に手掛けたい項目

中長期（5年後～新駅開業前）に手掛けたい項目

利用者の過ごし方に合わせた飲食の提供

- カフェでくつろぐ
- 待ち時間に立ち寄る
- まちを歩きながら
- 友人同士で情報交換
- 会社帰りに飲み会
- ビジネス時の昼食

魅力的な商品の提供

- 倶知安ならではの商品
- 手に取りたくなる旅のお土産
- 新たな商品の導入・開発

来訪者に合わせた情報発信

- 駅を降りた観光客が立ち寄る
- ドライブ観光客が立ち寄る

外国人観光客への案内

ツールを活用した情報発信

- スマートフォンの活用
- SNSの活用
- アプリとの連携

空地・既存施設の活用

- 既存倉庫・空家の活用
- 雪で遊べる広場
- 空地を遊べる広場・公園・緑地に、芝生を張る
- わいわいコンテナ

集まり

- 木のぬくもり
- イベント
- 漫画・本
- 骨董市
- もちよりのスペース
- マルシェ

マネジメントの仕組み

- 既存団体の関わり、一体で取り組む体制づくり、資金確保の仕組みづくり

歩きやすく一息つける空間

- 冬でも快適に歩ける（空き店舗前の歩道除雪、ロードヒーティング）
- シルバーカーでも歩きやすい
- 歩行者天国、歩行者専用道路
- そりでも移動できる
- ベンチで休める
- 車でのアクセス・駐車場の配置

楽しみながら歩ける空間

- 歩きながら商品が見える
- 水・緑・花・空がある
- 雪を活かす
- 温泉・足湯

景観性の向上

- 羊蹄山が見える
- 遠景・自然が見える
- 景観ルール等の策定

建物の誘導・規制

- 飲食店、商店、住居、集合住宅、遊戯施設
- 都市計画と連携した建築物に関するルール等の策定

人材を知る・育成する

- どんな人がいるか・何を考えているか
- 協力・連携できることは何か
- イベント、勉強会

多くの人が関わりまちをつくる

- 子ども
- 中高生
- 若者
- 地権者（外国人を含む）

